

シェアリング イノベーションズ Sharing Innovations(東 M:4178)

取材:2021年8月18日

担当:澤田 遼太郎

【連結】 (百万円、%、円:権利落ち修正後、Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研究所予想)

| 決算期 | 売上高 | 伸率 | 営業利益 | 伸率 | 経常利益 | 伸率 | 当期利益 | 伸率 | EPS | 配当 |
|------------|-------|----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|
| 2021/12 2Q | 2,129 | 18 | 186 | 107 | 189 | 106 | 120 | 149 | 33 | 0.0 |
| 2019/12 | 2,724 | - | 146 | - | 150 | - | 73 | - | 23 | 0.0 |
| 2020/12 | 3,782 | 39 | 273 | 87 | 275 | 83 | 176 | 141 | 48 | 0.0 |
| 2021/12 会 | 4,413 | 17 | 424 | 55 | 427 | 55 | 277 | 57 | 74 | 0.0 |
| 2021/12 予 | 4,600 | 22 | 430 | 58 | 430 | 56 | 280 | 59 | 75 | 0.0 |
| 2022/12 予 | 5,900 | 28 | 650 | 51 | 650 | 51 | 420 | 50 | 113 | 0.0 |

| 【セグメント情報】 | 21/12期 2Q | 【PER】 | 【財務指標】 | 21/6末 |
|--------------------|-----------|-----------|------------|-------------------|
| デジタルトランスフォーメーション事業 | 91% | 19/12 130 | BPS 365円 | 株価(8/19終値) 3,010円 |
| プラットフォーム事業 | 9% | 20/12 62 | 純資産 14億円 | 売買単位 100株 |
| | | 21/12予 40 | 総資産 19億円 | 発行株数 373.6万株 |
| | | 22/12予 27 | 時価総額 112億円 | PBR 8.3倍 |

<注目ポイント>

—デジタルトランスフォーメーション(DX)事業及びプラットフォーム事業(占いアプリ)を展開—

- ① 2021年12月期第2Qは売上高2129百万円(前年同期比+18%)、営業利益186百万円(同2.1倍)、経常利益189百万円(同2.1倍)、当期利益120百万円(同2.5倍)と増収・大幅増益。クラウドインテグレーション事業が急成長し、業績をけん引した。
- ② 通期計画に対する進捗率は売上高48%、営業利益58%となった。会社側は進捗を受けて通期の利益見通しを上表の通り上方修正した。エース経済研究所では高すぎた売上高予想を見直し、利益水準も会社予想並みに修正する。
- ③ デジタルトランスフォーメーション事業売上高は1941百万円(前年同期比+20%)となった。セールスフォース案件の需要が非常に強く、また人材の戦力化が会社側の想定以上に好調である。2Qには70名の採用を行い一時的に稼働率が低下したが、迅速な戦力化により高い稼働率を維持している。
- ④ デジタルトランスフォーメーション事業の採用教育と戦力化が会社想定を上回って進捗している。2Qに採用した新卒を含め70名の全員を2Qの間に戦力化し、案件に入れている。3Qからの収益寄与が見込まれるほか、教育が進めば単価の上昇にも寄与するだろう。

目標株価とバリュエーション判断は見送る。2Qの営業利益鈍化には注意

DCFに必要なベータ値等のデータが不足しているため、エース経済研究所では目標株価及びバリュエーション判断の開示を見送る。

現在、同社の成長エンジンはクラウドインテグレーション事業にあり、この動向が同社への評価を左右すると見ている。2Qは採用増によりやや利益は抑えられたが、この戦力化が寄与する3Q以降に収益の伸びは強まると見ている。注目したい。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%の手数料(約定代金が100万円以下の場合、最低手数料2,750円)(税込み)が必要となります。●外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の2通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大11.0%(75,000円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。

●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及びARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。